

政ができる範囲の中で応援していきたい。

スポーツ振興のための健康スポーツ立市宣言を

問 スポーツ振興は健康なまちづくりを進め、結果的に医療費の抑制等にもつながる。市民総スポーツ化への意識向上を図るとともに、スポーツのまちを市内外にアピールするため、スポーツ立市宣言はどうか。

答 スポーツ施設の利用者や関係スポーツ団体等の意見を幅広く伺いながら、今後の研究課題にしたい。



三河湾健康マラソン大会

小林優一(未来の会)

ラグーナ蒲郡の経営状況について

問 平成21年度の決算書には、蒲郡市から追加出資をお願いするところがあるが、実際に話が来ているのか。

答 自己資金が回らなくなってきた場合は、お願いしたいという希望で書かれたものであり、現段階で市が同意したものではない。今後の経営状況を見ながら、ラグーナ側から支援要請があれば、議会に相談しながら検討していきたい。

形原神社の里山林整備に対しての支援を

問 形原神社の裏山に桜を植えている春日桜会に対して、里山林整備事業の助成金が使えない場合でも、土砂の流出等の問題への相談体制はとってくれるのか。

答 問題に対して、お話を聞きし、現場を見せたいので、できるだけ範囲で支援をしていきたい。

形原神社裏の里山



大場康議(市政クラブ)

看護師確保の対策は

問 夜勤専従看護師の導入の状況はどのようか。

答 なかなか希望がない状況であったが、今年度7月から非常勤看護師で2名、夜勤専従勤務している。潜在看護師の雇用確保のための働きかけは。

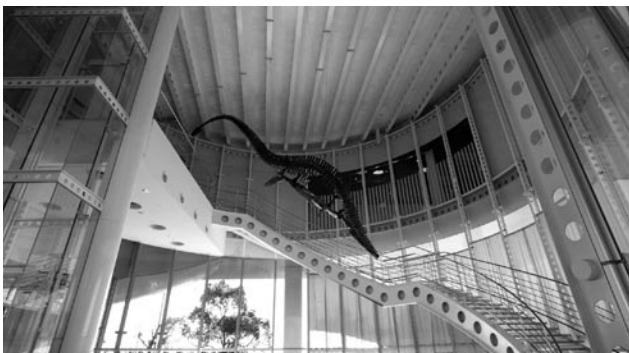
問 復職説明会を年2、3回行い、昨年度と今年度は非常勤ではあるが、3

名ずつ看護師を確保した。

生命の海科学館の展示ゾーン改修計画について

問 科学館の評価が高まった時点で議論をし、方向性を定めてからでも遅くはないと思うがどうか。

答 展示部門に魅力がなければ、存在価値は薄い。また省エネ型科学館への転換が必要である。国の助成金制度が活用でき、大型映像機器の更新時期の今が、そのタイミングだと考える。



生命の海科学館

松本昌成(公明党)

ひきこもりの支援対策推進を

問 ひきこもりは、実態調査結果で、全国で推計69万人に達することがわかった。ひきこもりに対しての今後の支援体制は。

答 現在の若者自立支援ネットワーク協議会を、発展的に解消し、新たに総代会、蒲郡警察署等の代表者を委員に加えた、子ども・若者自立支援ネットワーク協議会に改名する。専門部会を開催し、共通認識のもとに事例研究を行い、適切な支援に結びつける。

災害時要援護者の避難支援のために

問 避難支援全体計画を策定すべきではないか。

答 今後、福祉課と関係部署と協議を行いながら、国の避難支援ガイドラインを参考に、蒲郡市災害時要援護者支援体制マニュアルを作っていくたい。